



かわにし 70 年

なつかしの写真展

ー川西市制 70 周年プロジェクトー

川西市は 2024 年に市制 70 年を迎えます。

川西市が市民にとって「大切なまち」であり続けることを目的とし、100 周年のミライを見据え「笑顔つづくミライへ。」をテーマに様々な事業を実施します。「なつかしの写真展」では、市制 70 周年を記念して川西の過去を振り返る写真展を年間通して市内の様々な場所で開催します。当時の人々の暮らしや街の様子などの貴重な歴史・文化を記録し、未来に向けて後世に伝えます。

ー市制施行ー

川西市は昭和 29 年（1954）8 月 1 日に川西町・多田村・東谷村の 1 町 2 村の合併により市制施行
市制施行当時の人口は 33,741 人、世帯数は 7,490 世帯であった。

猪名川上流の生活の様子

■猪名川水力発電所

大正 4 年頃から稼働していた水力発電所で川西市や能勢町などに給電していたとされる。
一庫大路次川と田尻川の出合いに建設され、昭和 50 年代まで稼働していた。現在は発電所自体は残されておらず、所在地も一庫ダム湖の湖底に沈んでいる。

■一庫キャンプ場

一庫ダムができる前の一庫大路次川（現在の唐松公園付近）は昭和 40 年代頃にはキャンプ場や遊泳場として
たくさんの人で賑わっていた。

■一庫温泉

写真は昭和 30 年代中期の様子。旅館は現在の一庫ダム堰堤のすぐ南にあった。
この周辺には当時数軒の旅館が集まり、宿泊客は温泉や溪流釣りを楽しんだ。

■能勢電鉄

昭和 41 年（1966）の山下駅の様子
妙見の森ケーブルは、大正 14 年（1925）に能勢妙見山への参拝者の輸送を目的に営業を開始
写真は昭和 36 年（1961）のケーブルとリフト乗り場の様子
妙見の森ケーブルやリフトは令和 5 年（2023）に惜しまれつつ営業を終了。63 年の長い歴史に幕を下ろした。
（引用：能勢電鉄株式会社 HP より）

■一庫炭

川西市の特産のひとつで、炭の原料となるクヌギの木が入手しやすいことから、室町時代頃から炭焼きが行われていた
とされる。最盛期には約 40 軒ほどの炭焼き農家がいたが、今では 1 件の農家はその伝統技術を守り続けている。
写真は昭和 32 年（1957）の炭焼き釜

■鳴尾ゴルフクラブ

鳴尾ゴルフクラブは川西市の西畦野に位置し、開業大正 9 年（1920）で由緒ある日本を代表するゴルフ場の一つである。
写真は昭和 30 年頃のクラブハウス

※掲載している写真は川西市が所有するものです。

開催場所・期間（予定）：

①川西市役所（屋内）	1 月中旬～ 12 月下旬
②多田神社（屋外）	終了しました。
③キセラ川西プラザ（屋外）	4 月初旬～ 12 月下旬
④川西市立ギャラリーかわにし（屋内）	終了しました。
⑤けやき坂中央公園（屋外）	9 月初旬～ 10 月中旬
⑥川西市郷土館（屋外）	10 月中旬～ 11 月下旬



なつかしの写真展 市 HP

川西市 70 周年事業 特設 HP



■いずれも鑑賞無料になります。 ■開催場所や期間は現状の予定となりますので、変更する可能性があります。
■詳しい開催場所や期間・時間等については、市 HP（右記の二次元コード）から発信しますので、ご確認をお願いします。
主催：川西市 問い合わせ先：川西市市長公室 市制 70 周年記念事業事務局 072-740-2034（直通）